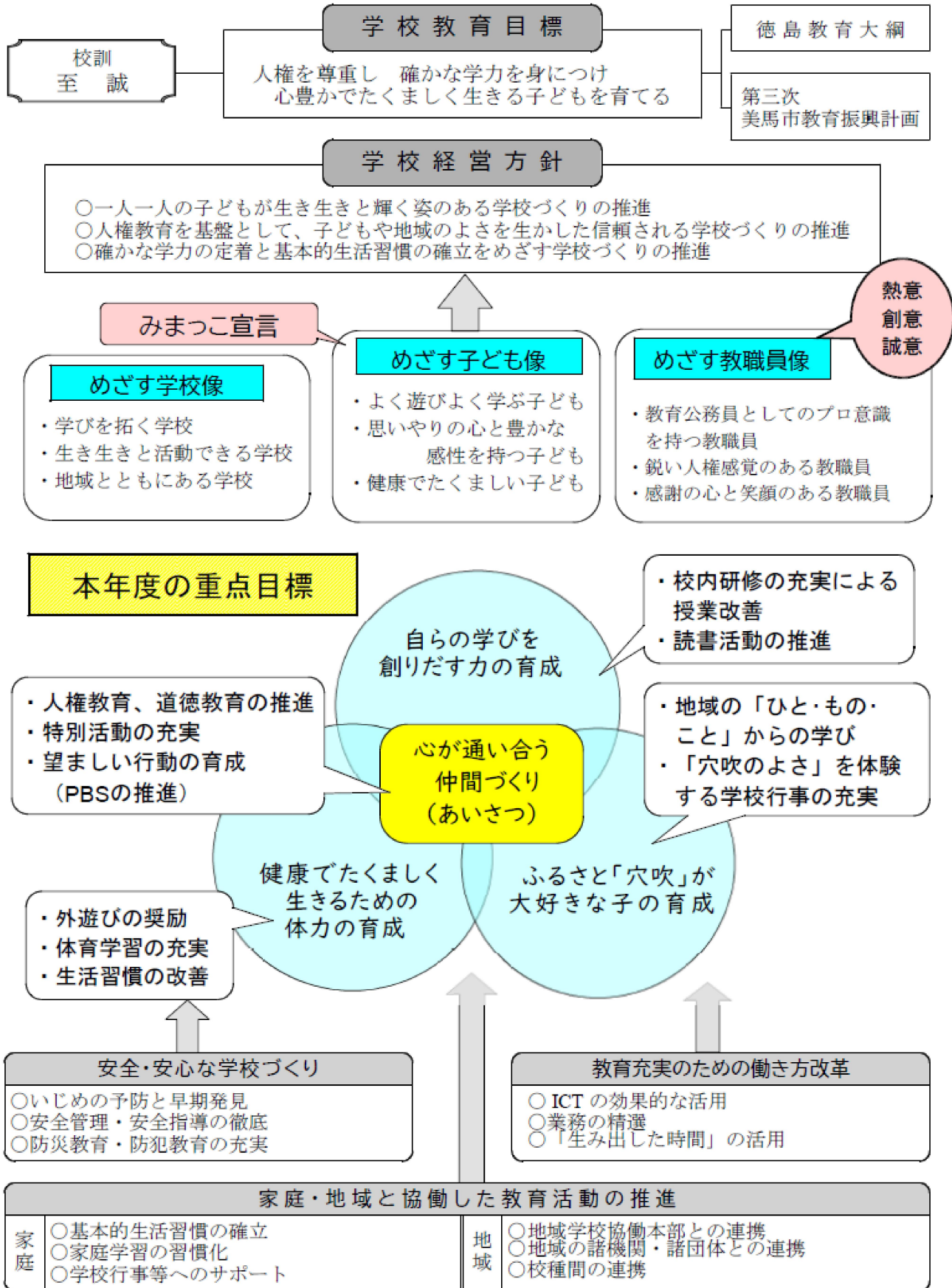


令和7年度
学校評価

美馬市立穴吹小学校

令和7年度 穴吹小学校 グランドデザイン



教育活動		B	
評価項目	評価指標・取組指標	評価及びその理由 (アンケート結果は「そう思う」「ややそう思う」の合計)	
確かな学力	☆全国学力・学習状況調査(4/17) ☆ステップアップテスト(4/17) ☆アンケート4「家庭学習」 ☆アンケート5「学力」 ☆わかる授業をめざす授業研究 ☆週帯時間によるドリル学習 ☆個に応じた指導 ☆ICTを活用した教育 ☆読書の習慣化への取組	全国比 6年 国語-2.8 算数 -10.0 徳島県との差 5年 国語-1.6 算数 -13.4 児童86.0%(93.0%)↓ 保護者79.0%(80.0%)↓ 児童97.0%(96.0%)↑ 保護者84.0%(85.0%)↓ ・学力向上実行プランに基づいた授業実践、 ・特別活動部会とPBS算数科部会による授業改善への取組 ・TT、授業中や休み時間、放課後の個別指導 ・デジタル教科書の活用、電子黒板の活用 ・タブレットの活用(メタモジ タブレットドリル) 朝の読書(ボランティアによる読み聞かせ)、 図書委員会の取組(多読賞表彰、図書クイズ)	B
	成果と課題		
	全国学力・学習状況調査やステップアップテストの結果は、全国や県と比べて特に算数は低い状況が続いており、基礎基本及び活用力など学力の引き上げが引き続き課題である。授業研究を計画的に行い、教師の授業力向上を図り、わかる授業をめざす。また、タブレットを活用した授業実践と併せて、手書きによる「書く」時間を発達段階に応じて意図的に設けて、基礎基本の定着を図る。		
評価項目	評価指標・取組指標	評価及びその理由 (アンケート結果は「そう思う」「ややそう思う」の合計)	
豊かな心	☆アンケート1「あいさつ」 ☆アンケート3「仲良く」 ☆アンケート6「児童理解」 ☆アンケート11「学校は楽しい」 ☆人権教育への取組 ☆道徳教育への取組 ☆特別支援教育への取組 ☆温かく支持的な学級集団づくり	児童86.0%(92.0%)↓ 保護者83.0%(82.0%)↑ 児童97.0%(98.0%)↓ 保護者89.0%(87.0%)↑ 児童97.0%(97.0%) - 保護者82.0%(80.0%)↑ 児童90.0%(92.0%)↓ 人権教育の視点に立った教育活動の展開 人権教育に関する校内研修、親子で作る人権標語 人権学習参観日、人権コンサートの開催 穴吹中学校キャリア教育出前授業に参加(6年生) 年間計画に沿った計画的な指導 校内研修における共通理解、特性に応じた指導 ケース会議の開催、関連機関との連携、 児童相互が認め合う「話し合い活動」の充実 異年齢集団「にこにこ班」での活動 PBS(ポジティブ行動支援)手法による支援	B
	成果と課題		
	昨年度に比べ、保護者の評価が、わずかながらではあるが前年度に比べ上昇している。引き続き、学校における道徳教育や人権教育の目標や具体的方策、各取組の意義について家庭に通知し、理解を広げ協力を得ていく取組を継続していく。一方、児童自身の評価は、前年度に比べわずかながらではあるが低下している。全ての教育活動に人権の視点を据えるとともに、学校全体で一人一人の児童に寄り添った教育をさらに推進していく。		
評価項目	評価指標・取組指標	評価及びその理由 (アンケート結果は「そう思う」「ややそう思う」の合計)	
健やかな体	☆全国体力・運動能力・習慣調査 ☆アンケート2「早寝早起き朝ごはん」 ☆アンケート9「体力向上」 ☆各種校内検定の取り組み等 ☆肥満傾向児童の改善状況 ☆各種運動大会練習参加状況 ☆休み時間の遊びの状況	全国平均に比べ5年男子は-1.1、女子は-7.4 児童89.0%(93.0%)↓ 保護者72.0%(78.0%)↓ 児童82.0%(69.0%)↑ 保護者78.0%(82.0%)↓ 水泳検定、縄跳び検定等 軽度肥満以上は4月は12.1%、1月には15.0% 体操 13(36)名、水泳 18(28)名、陸上 27(23)名参加 昨年度より登校後の運動場での外遊びを奨励したことで、登校後外遊びをする児童の姿が増えているが、全体の6割程度に留まっている。	B
	成果と課題		
	多くの児童が積極的に各種運動に参加したり、体育の時間の水泳検定や縄跳び検定に取り組んだりしている。雨の日の休み時間に体育館を使用できるようになったことや朝の運動場での外遊びを通して、運動の幅が広がり、意欲的に活動する児童も増加した。また、スポーツ・安全委員会による全校遊び(逃走中)の実施など、より気軽に運動に親しむ機会も増えた。しかし、運動の二極化が見られ、全ての児童が運動に親しんでいるとは言い難い。併せて、肥満傾向の改善にもつながる望ましい食習慣・運動習慣の定着に向けた取組を家庭・地域と連携して一層推進する必要がある。		

自己評価 (A…達成 B…概ね達成 C…やや不十分 D…不十分)

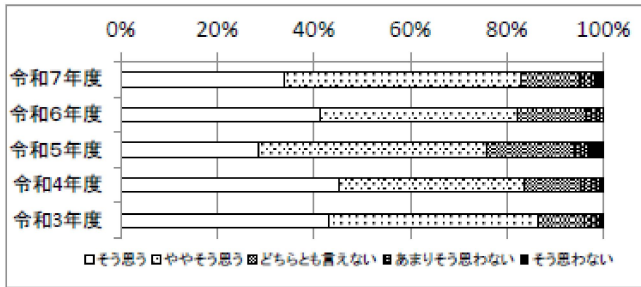
信 頼 さ れ る 学 校		B	
評価項目	評価指標・取組指標	評価及びその理由 (アンケート結果は「そう思う」「ややそう思う」の合計)	
開かれた学校	☆アンケート7「相談体制」 ☆アンケート10「連携」 ☆ホームページの記事投稿状況 ☆分かりやすい学級だより ☆保護者との連携 ☆保護者や地域と連携した学校行事 ☆学校支援ボランティアとの連携	児童97.0%(99.0%) ↓ 保護者73.0%(73.0%) - 児童86.0%(81.0%) ↑ 保護者87.0%(85.0%) ↑ 1月26日時点で61(38)投稿 全学級発行 家庭訪問、個人懇談の実施と担任による電話連絡、 さくら連絡網、web質問等の活用 運動会、川の学校、宮内オリエンテーリングなど で多数の保護者やボランティアの協力を得た。 各種行事への支援、読み聞かせ、昔遊びやクラブ 活動など学習活動への支援、環境整備等の協力	B
	成 果 と 課 題 行事では、例年以上に多くの保護者や地域の方の協力を得られたことで、より充実した活動ができた。学校の相談体制に対しては、保護者の肯定的な評価が昨年度と同じであるが、7割程度で十分とは言いがたい。家庭訪問、個人懇談といった定期的な機会だけでなく、これまで以上に日常のきめ細かい連絡体制を確保し、保護者の側から相談しやすい環境づくりに努める。学校からの連絡については紙媒体を基本とし、緊急性のある内容やアンケート等については電子媒体での連絡を行うようにしている。今後も家庭との連絡体制を強くし、保護者の理解と協力を得るためにも、様々な方法で丁寧な情報発信をしていくようにする。		
安全・安心	☆アンケート11「安全整備体制」 ☆毎月の安全点検 ☆交通安全教室、避難訓練、防災学習、緊急時引渡し訓練 ☆学校内でのけがの状況 ☆落ち着いた学校生活への取り組み	保護者86.0%(85.0%) ↑ 毎月安全点検を実施し、不良箇所を修繕した。 交通安全教室1回、避難訓練3回(地震・火災1回、土砂災害1回、不審者対応1回) 緊急時引渡し訓練1回 日本スポーツ振興センター申請 3件(6件) 「穴吹よい子のきまり」を引き続き全校をあげて指導した。	B
	成 果 と 課 題 安全整備体制について、保護者からの肯定的な評価は前年度とほぼ同じである。土砂災害や南海トラフ地震など、災害に備え様々な場面を想定した避難訓練の実施と安全教育の推進と地域、家庭との連携により、防災力を高め、安全・安心な学校づくりに引き続き努めていく。		
教職員が生き生きと働く職場環境	☆アンケート8「活力ある教職員集団」 ①「業務改善・勤務時間の適正化」 ②「休暇のとりやすさ」 ③「職場環境の整備」 ☆勤務時間の適正化 ☆業務改善	児童 97.0%(97.0%) - 保護者86.0%(80.0%) ↑ 教職員89.0%(66.0%) ↑ 教職員95.0%(91.0%) ↑ 教職員89.0%(75.0%) ↑ 時間外在校時間の管理 校務支援システムの活用 学びサポーターの活用	A
	成 果 と 課 題 教職員の業務改善、勤務時間の適正化、休暇のとりやすさ、職場環境の整備等、全ての項目において、昨年度より肯定的な回答の割合が大幅に増えている。教職員一人一人が、常に生き生きと自身の職責を果たすことができるような活力ある教職集団であり続けるために、今後も引き続き、よりよい職場環境づくりをめざした取組を行っていく必要がある。		

総合評価

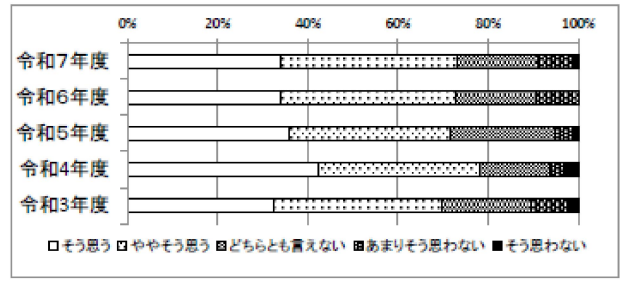
- (1) 危機管理マニュアルに基づいた学校における安全教育を計画的に行うとともに、地域、家庭、諸機関と連携した取組を通して、より安全・安心な学校づくりをめざしていく。
- (2) 基礎基本の定着、活用力の向上のため、研究授業等を計画的に行い、教師の授業力向上を図る他、ドリルの時間の活用方法などを工夫し、個別最適な学びの実現を目指していく。
- (3) 児童の発達段階に応じて、すべての教育活動を通して道徳教育や人権教育を実践し、他人を思いやる心や尊重する心を育むとともに、取組の方策や意義を家庭に通知することで理解を広げ、協力体制を築いていく。
- (4) 保護者や地域学校協働本部の支援を得て、今年度も昨年度以上に穴吹小学校ならではの教育活動を展開することができた。次年度以降の継続については、教育活動の精選やブラッシュアップをしっかりと行い、よりよい教育効果を得ることができるように行っていく必要がある。

- 評価項目「確かな学力」について、小学校段階では、手書きによる「書く」活動は必要であり「書く」活動を見直し、学年や発達段階に応じて、積極的に進めていくことは、とても評価できることであり、是非とも進めてほしいと思う。
- 評価項目「健やかな体」について、昨年度より登校後の運動場での外遊びを奨励しているということであるが、子どもの体づくりにとってとても良いと思う。小学生のうちにはいろいろな運動を体験させることが大切であり、体を動かすことで体力もつき、他の活動にも良い効果が現れるのではないかと思う。
- 評価項目「開かれた学校」については、学校からの連絡については、紙媒体を基本とし、緊急性のあるものやアンケート等については、さくら連絡網等の電子媒体を活用するなど、目的に応じて、使い分けをされていることはとても良いと思う。
- 学校評価アンケートを、小・中学校ともに実施しているが、アンケート項目の中に小・中学校で共通のものも入れてみると、小・中学校での比較ができて良いと思う。

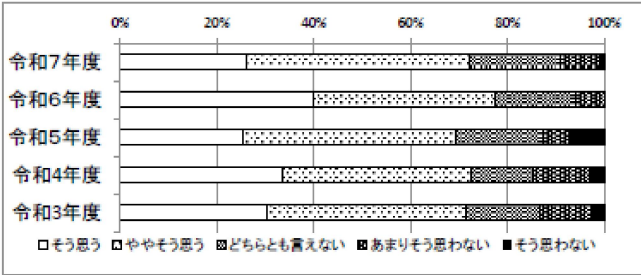
1 子どもは、家庭や地域の人に自分からあいさつができています。



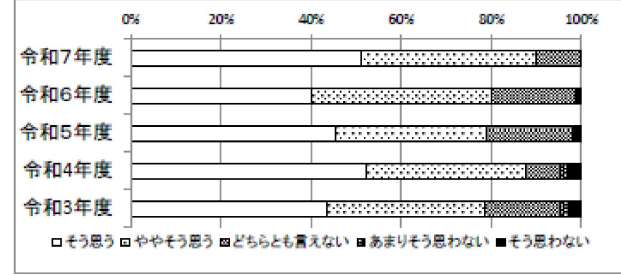
7 学校は、子どものことなどでたずねたり相談したりしやすい。



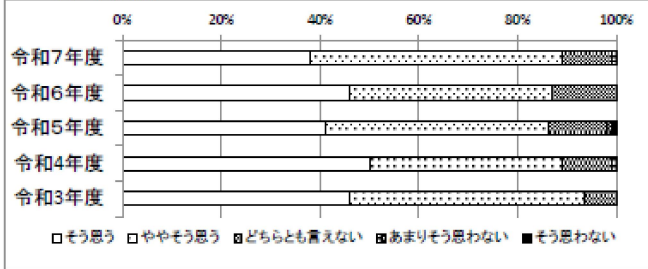
2 子どもは「早寝早起き朝ごはん」の習慣が身についている。



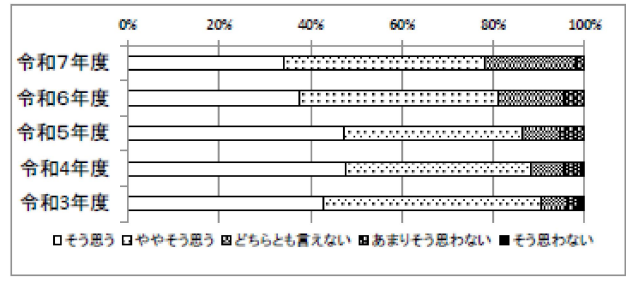
8 教員は活気があり、はつらつと子どもに接している。



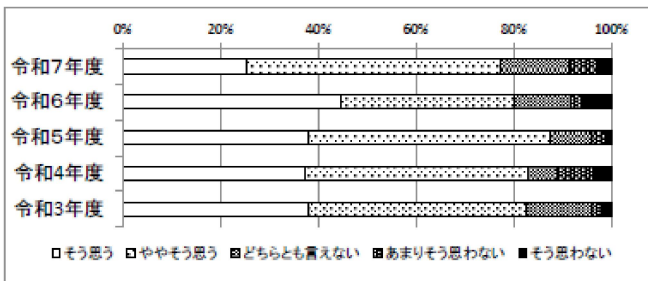
3 子どもは、優しく思いやりのある態度が見られ、友達とも仲良くできています。



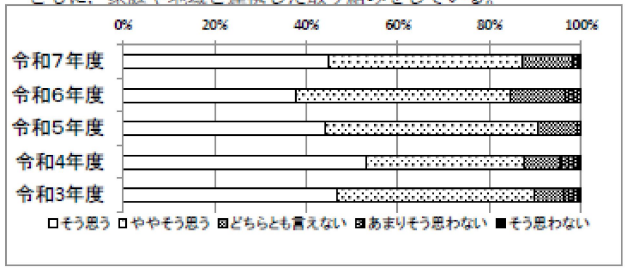
9 学校は、子どもの健康な体づくりや体力向上のために取り組んでいる



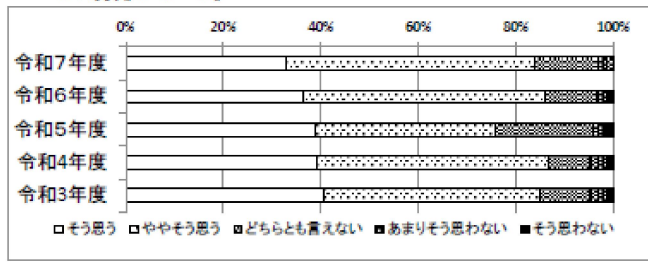
4 子どもたちは、毎日宿題をしたり、読書をしたりしている。



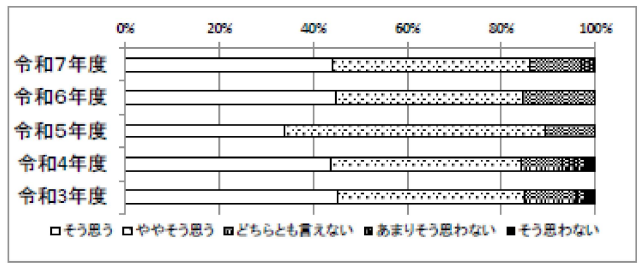
10 学校は、お便りや通信、ホームページなどで情報を伝えるとともに、家庭や地域と連携した取り組みをしている。



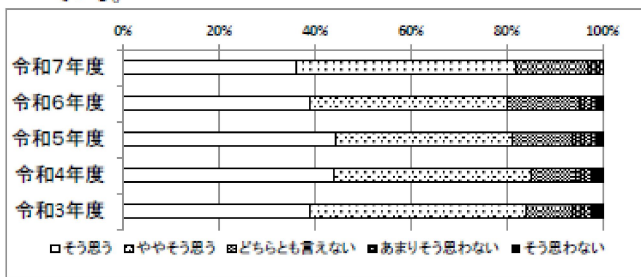
5 学校は、基礎的な学力が身につくよう授業や学習活動を工夫するなど努力している。



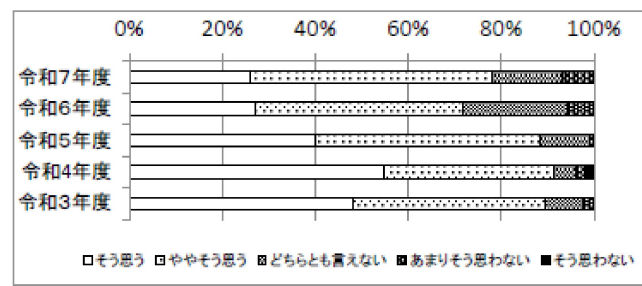
11 学校は、施設や設備の整備に努めるとともに、子どもの安全を守る取組(保健衛生・交通・自然災害・不審者対応など)の対応を行っている。



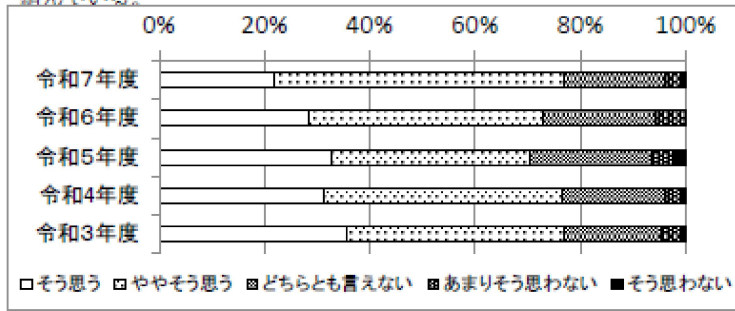
6 学校は、子ども一人一人を理解するように努め、子どもを大切にしている。



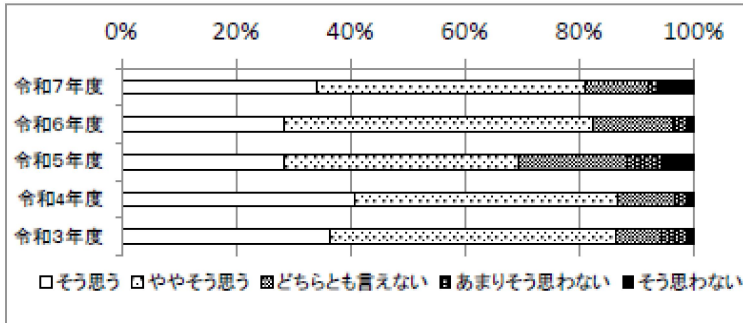
12 学校は、新型コロナウイルスなど感染症対策にしっかり取り組んでいる。



13 学校は、スマホやSNS等について、メディアリテラシー（メディアから得た情報を見極めるスキル）の能力を高めたり、危険について学習しようと取り組んでいる。

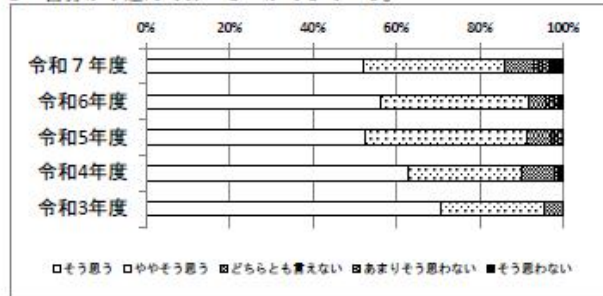


14 学校は、タブレットを使用した学習環境の構築並びに授業や学習活動を工夫するなど努力している。

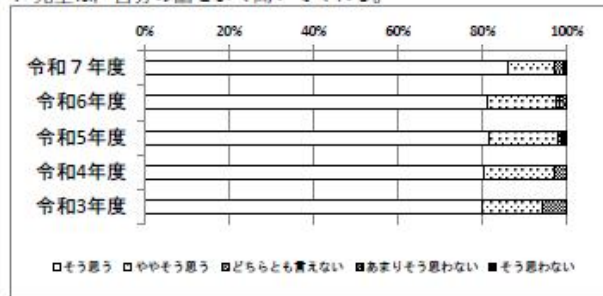


令和7年度 穴吹小学校学校評価 児童アンケート結果

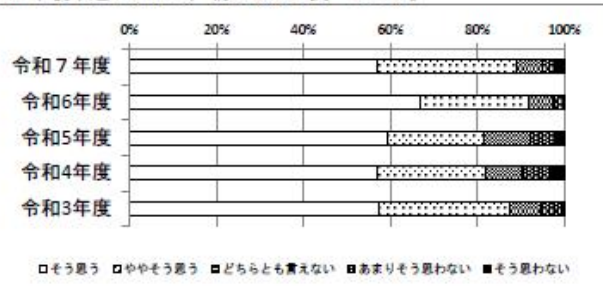
1 自分から進んであいさつができています。



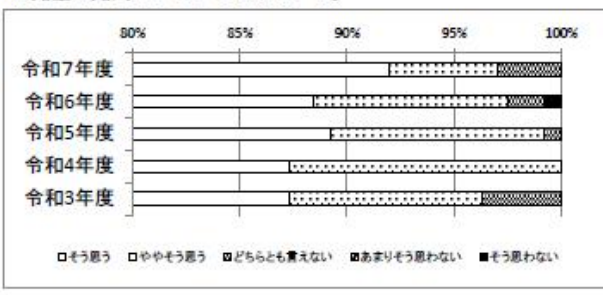
7 先生は、自分の話をよく聞いてくれる。



2 早寝早起きをして、朝ごはんを食べている。



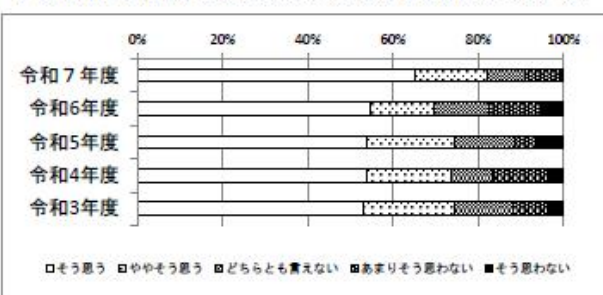
8 先生は元気でいきいきとしている。



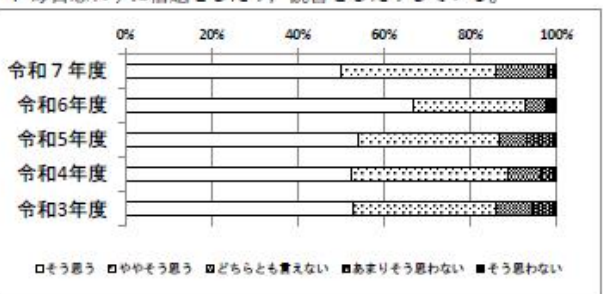
3 誰とでも仲よく遊んだり勉強したりしている。



9 休み時間に外で元気に遊んだり、進んで運動したりしている。



4 毎日忘れずに宿題をしたり、読書をしたりしている。



10 学校のことや学校でしたことをよく家の人に話している。



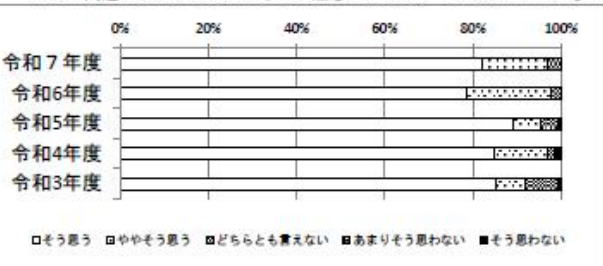
5 先生は、勉強を分かりやすく教えてくれる。



11 学校は、楽しい。

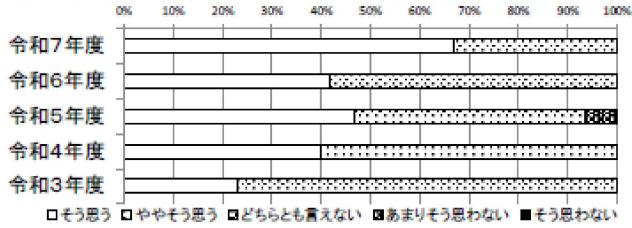


6 先生は、がんばったことや努力したことをほめてくれるし、いけないことや間違ったことをしたときには注意したりしったりしてくれる。

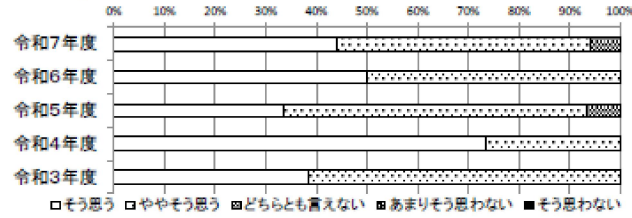


令和7年度 穴吹小学校学校評価 教職員アンケート結果

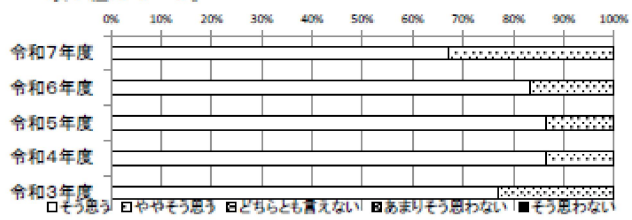
1 学校や地域で適切なあいさつができるよう指導し、身につけている。



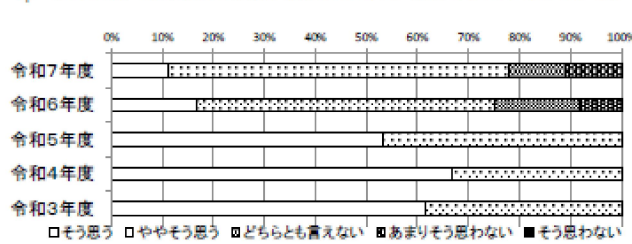
2 家庭の協力を得るよう努め、基本的な生活習慣が身につくよう取り組んでいる。



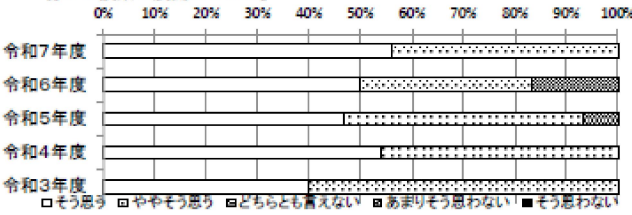
3 人権を尊重し、いじめのない一人一人が安心できる集団づくりに取り組んでいる。



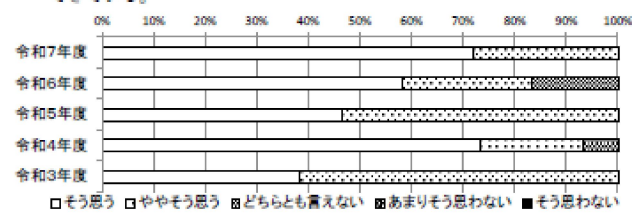
4 子どもは、毎日家庭で宿題や勉強をしたり、読書をしたりできている。



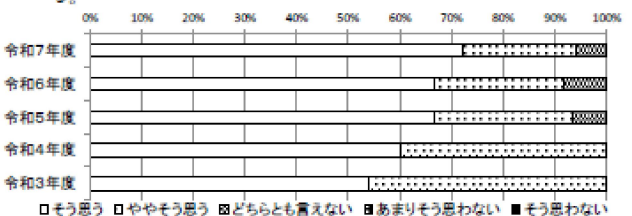
5 意欲を高め、基礎基本の定着を図るための指導方法や形態を工夫し、分かる授業を展開している。



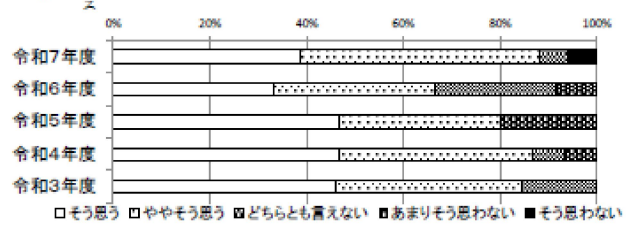
6 様々な場において一人一人の児童理解に努め、適切な指導・支援や助言ができています。



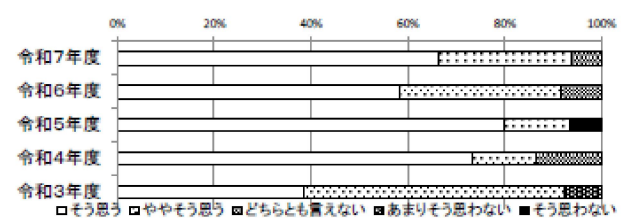
7 気軽に相談しやすい雰囲気を作り、児童や保護者の相談をよく聞いている。



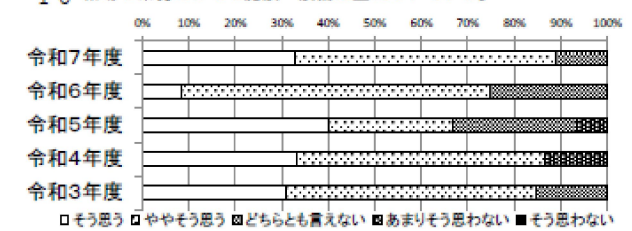
8 教育の効果を上げるため、業務改善や勤務時間の適正化に取り組んでいる。



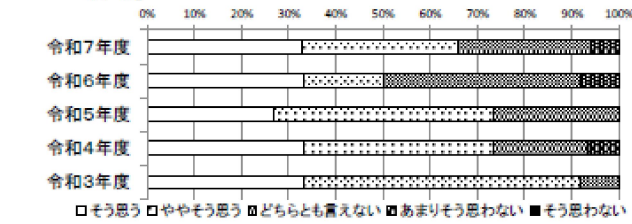
9 年休、特休等の休暇は適切に取得できている。



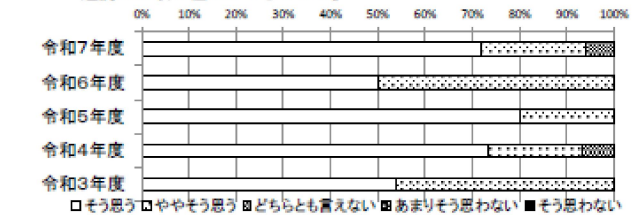
10 職場の環境としての施設・設備は整えられている。



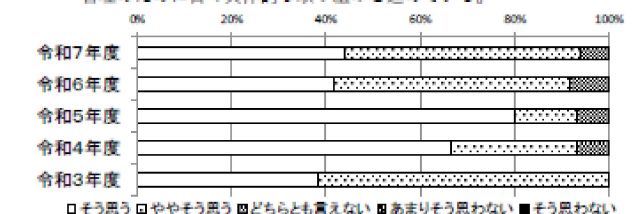
11 体力向上のために、具体的な方策を示した指導をし、効果を上げている。



12 学校の情報や児童の様子等を適切な方法で伝え、家庭や地域と連携した取り組みができています。



13 学校安全計画や危機管理マニュアル等により、安全確保や健康管理のために日々具体的な取り組みを進めている。



令和7年度 保護者アンケート ご意見・ご質問に対する回答

- ・個人が特定できる部分については伏せさせていただきました。
- ・同じ内容のご意見は、まとめて記載しています。

学校生活に関して

- ・子供が学校に楽しんで通っています。帰宅後も、学校での出来事を喜んで話してくれます。日ごろから、先生方が丁寧に関わってくださっていることに感謝しています。
- ・学校でのトラブルにも対応していただいたり、家庭でのトラブルなども相談に乗っていただいたりして、先生方には多大なるご迷惑をおかけいたしました。学級だけではなく、学校全体で見てくださっていると感じる事が多く、大変有り難く思っております。
- ・いつもお世話になりありがとうございます。良い雰囲気の中で育ててもらえているので、ありがたく思っています。
- ・英語の授業をもう少し充実させてほしい。実践的なことができるような授業にしてほしい。
- ・中学年になると、漢字が難しくなるので、少なくともいいので、前日に出る所を教えていただき、次の日簡単な小テストをしてくれたらありがたいです。
- ・金管バンド 高学年になったらできると子供達は楽しみにしているので、どうか継続してほしい。

学校教育に対しご理解をいただきありがとうございます。学級では、担任が責任を持ってお子様をお預かりしていますが、多角的な視野で児童一人一人をみていこうと教員複数体制での授業や学校全体で情報共有を常に行っています。今後も、さらに子どもたち一人一人のよりよい成長のために、全教職員一丸となって尽力して参ります。

【外国語活動(3・4年)・外国語(5・6年)について】

小学校の外国語活動、外国語(教科)で最も重視していることは、「コミュニケーションを取ろうとする意欲」「異なる文化への興味・関心」を育むことです。中学年では、「聞く」「話す」、高学年では「読む」「書く」を加えた教科として基礎的な英語力を身につけ、中学校での本格的な英語学習につなげていきます。英語で自分の考えや気持ちを表現したいという気持ちが高まるような授業を目指してまいります。

【漢字について】

小学校で習う漢字の総数は、1026字で、各学年で習う漢字は、文部科学省の「学年配当漢字表」

に基づいて決められています。学校においては、市販の漢字ドリル等を使い、授業の中で進出漢字の読み方や書き方を指導しています。また、宿題で漢字練習を行い、定期的に漢字テストを実施し、児童の定着度を確かめています。学年が上がるにつれ、漢字も難しくなってきますので、単元ごとの漢字テストに加えて、学年に応じて出題する漢字を指定したり、問題数を少なくしたりするなど、工夫しながらより子どもたちが意欲的に漢字の学習に取り組むことができるように努めます。

【金管バンドについて】

金管バンドは、美馬地区小学校音楽会出場に向けて5・6年生で編成・練習をしています。しかし、金管楽器の指導にあたる教員が不足しており、練習時間の確保も難しくなっている現状があります。

持続的な音楽活動の方法を検討した結果、金管バンドの継続は難しいと判断し、音楽の授業で学習したことをステージで発表できるような新しい体制づくりを考えることとなりました。どうか、ご理解くださいますようお願いいたします。

家庭・地域との連携に関して

- ・先生方や地域のボランティアの方の見守り等がすばらしいなと感じています。これからも地域との繋がりを大切にしていって学校であってほしい。
- ・子どもがご便りを出さないことがあるので、大事なことはさくら連絡網でも知らせていただくと助かります。

地域と共にある学校づくりにおいて、穴吹小学校の学校支援ボランティアの方々の、学校行事等におけるご尽力にとっても感謝しています。併せて、保護者の方々にも

たくさんのご協力をいただき、充実した学校行事を行うことができました。今後とも、地域と共にある学校づくりのため、ご協力いただけますようお願いいたします。

【さくら連絡網について】

現在、学校からのお知らせは、紙媒体を基本とし、緊急性のある内容やアンケート等については、さくら連絡網という形を基本としています。学校でも担任から、

お便り等は必ず家の人にその日のうちに渡すように指導しますが、併せてご家庭でも、お子様にご確認をよろしくをお願いします。

行事等に関して

- ・運動会の保護者観覧場所ですが、空いている少ない地区の場所もあったり、多くて場所がない地区もあったので、少ないところはどこかと合同にして、多いところは広めにとりいただけたら助かります。
- ・高学年の競技について、毎年同じような内容になってきているように思う。他の学校で、6年生とその家族が一緒にする競技があり、うらやましい。
- ・順番の旗がなくなったが、順位を決めることにも意味があると思う。
- ・運動会の時に、帽子を反対に被らせて(徒競走など)顔がよく見えるようにしてくれたのは嬉しかったです。
- ・学年末になり、子供も学校生活でいろいろ変化もでてきていると思います。個別懇談を年1回でなく、この時期辺りにもしていただけたら、ありがたいと思うのですが難しいでしょうか。先生方もお忙しいとは思いますが、検討していただくと、子供との関わり方など今後のためにもなりますので、どうかよろしくお願いします。
- ・学習発表会のとき、撮影席をつくつたらいいと思います。

【運動会について】

運動会の観覧席は、地区ごとによる PTA 数をもとに一家庭当たりの広さを同じとして、割り振りをしていますが、限られたスペースの観覧場所のためご迷惑をおかけしています。運動会の種目については、担当教員が中心となって、マンネリ化にならないように工夫を凝らしながら考えています。いただいたご意見を参考にしながら今後は競技内容を検討したいと思います。

【個別懇談について】

現在、保護者の皆様と直接お話をする定期的な機会として、4月の家庭訪問、学級懇談会、夏休み中の個人懇談があります。年度末に、個人懇談を設けるとなると、平日授業後の16時以降と限られた時間となり、日程の

調整が難しいと思われまます。お子様のことでご相談等があれば、その都度対応させていただきますので、ご連絡いただけますようお願いいたします。

【学習発表会の保護者席について】

このことにつきましては、昨年度の本アンケートにも同様の意見をいただき検討しましたが、体育館のスペースを考慮し改善には至りませんでした。本年度の学習発表会では、来場者数が予想以上に多く、途中で椅子を数列分用意したところ、観覧席が体育館の後ろまでできていました。本年度の反省を踏まえ、ご観覧の皆様にご満足いただけるよう来年度につなげていきたいと思ひます。

その他

- ・4月のクラスの役員の決め方を全学年で統一してほしいです。出席番号順にしてもその時に出席していない方がいることや担任の先生からの連絡がつかないことなどを耳にしました。
- ・スポーツセンターへのお迎えの際、駐車場で子供達が遊んでおり、運転している保護者からすると当たりそう怖いし危ない。車の周りでグルグル走って遊んでいるので車にキズが入りそうで心配です。

【学級役員の決め方について】

保護者の皆様には、4月の学級役員の決定にご協力いただき、ありがとうございます。各委員に選出された皆様、各委員会の中心となりご尽力いただいたおかげで、充実した活動を行うことができました。選出方法については、再度学校内でも確認し、学年間で統一した選出方法で行うことができるようにしたいと思ひます。

【送迎時の児童の安全について】

学校では、年度始めに、朝会で生徒指導担当教員からスポーツセンターでお迎えを待つ時の約束を指導しました。その後も折に触れ、学級や全体指導を行っています。

保護者の皆様もお子様の送迎時にスポーツセンターを利用される場合には、駐車場遊びながら待つことがないように、お子様にお話をさせていただきますよう、お願いします。